

令和6年2月1日

## 若新雄純氏に関する近時の報道に対する当市の対応について

この度の週刊誌掲載の記事につきまして、当市といたしましては遺憾であると受け止めております。

鯖江市役所JK課活動への若新氏の関与につきましては、事業立ち上げ当初から令和元年度までの間、事業実施の「プロデューサー」（コーディネーター的役割）として、アドバイスをいただいていたところでございます。

なお、現在および過去のメンバーに対しまして、可能な範囲で調査をした結果、不適切な事案は確認されませんでした。

本事業は、当初から、市職員が管理監督者として常時帯同するなど、サポートしながら、慎重に取り組んでおり、現在はコーディネーターの関与を受けず、自立してまちづくり活動を展開しております。

今後もこの方針に変わりはなく、本事業は、状況をみながら適切に進めてまいります。

鯖江市長 佐々木 勝久